



自治医科大学卒業医師への支援：研究編

大学を卒業し、医師として臨床に従事していると、ふとした疑問を感じたり、これってどうなのかと思ったりすることがあります。自分の専門分野であれ、一般的な興味であれ、疑問を解決していく姿勢は、医師としての人生に潤いを与えるものではないでしょうか。

そうした興味を、疑問を、日常診療に紛れてそのままにはいませんか。

自治医科大学では、全国で地域医療に従事している卒業生を対象に、日常診療で感じている疑問や興味を探究する姿勢を支援するため、自治医大オリジナルな研究を支援するため、**社会人大学院制度**や**研究生制度**、**地域医療研究支援チーム CRST**を用意しています。

また、地元の事情やニーズに応じてサポートできるように、**オープンラボアドバイザー制度**を2015年4月より立ち上げています。

問題解決に向けて、身近に相談できる方がいない、どのような方法があるか訊いてみたいなど、迷って途方に暮れる前に、**地域医療オープンラボ**(CRST 事務局)へご相談ください(openlabo@jichi.ac.jp)。様々なオプションを対話の中で検討していきましょう。

地域医療オープンラボ・CRST HP <http://www.jichi.ac.jp/dscm/CRST.html>

✓ ふと感じた疑問、これって研究テーマ？

→身近な詳しくそうな人に相談してみる

→本や雑誌、論文を見る

→CRSTへ連絡してみる：研究テーマとして妥当かアドバイス

✓ 研究テーマが見つかった(と思う)、どのように探究したらいいか

→身近な詳しくそうな人に相談してみる

→本や雑誌、論文を見る

→CRSTへ連絡してみる：研究デザインについてアドバイス

✓ 臨床研究を行い、データを得た、学会発表や論文発表を行いたい

→身近な詳しくそうな人に相談してみる

→本や雑誌、論文を見る

→CRSTへ連絡してみる：論文作成支援、症例報告作成支援

✓ 大学院に入り学生として研究生活を送ってみたい、学位取得を希望

→地元医大に相談してみる

→自治医大大学院入学を希望：地域医療オープンラボで担当教員紹介・マッチング

義務中→県担当者・県人会先輩・県担当自治医大教員と相談

→社会人大学院、一般大学院で学位取得を目指す

義務後→退職して大学院入学

勤務を続けながら→社会人大学院

✓ 専門家に相談しながら、指導を受けながら、研究を行いたい

→身近な詳しくそうな人に相談してみる

→地元医大に相談してみる

→自治医大の該当教室で研究生：地域医療オープンラボで担当教員紹介・マッチング

(卒業生には学費割引あり、研究歴となり、5年の研究歴があれば博士論文提出可能)

自治医科大学卒業医師への支援：研究編

社会人大学院(学外)：年2回の入試(8月、2月)：研究テーマと指導教員とのマッチングが重要

特典：4-6年の就学年数を選択できる(学費は同じ)、オープンラボがサポート：面談、進捗状況審査会
在学生2020年：25名(自治医大卒業生9名：宮城 東京 静岡 岐阜 広島 愛媛 福岡 佐賀 熊本)
研究テーマ：疫学研究や実験研究も可

地域医療研究支援チーム CRST (Clinical Research Support Team in JMU)

自治医大教員有志で組織された、卒業生の研究活動を支援する「お節介集団」、現在199名の教員が登録
支援内容

研究デザインのアドバイス 研究成績の英語論文化へのアドバイス 英語論文作成のアドバイスと援助
すでに作成した英語論文をアクセプトさせるための援助 症例報告作成についての援助
実績(2010年7月～)：支援件数130件、論文アクセプト68件、学位取得8件

地域医療オープンラボ アドバイザー制度：今後、ニーズに応じて増員予定

2015年4月より、自治医大で学位取得後、地域で活躍中の卒業生(複数の場合は1名)に委嘱：2年間(継続可)
地元または近隣の卒業生の集会に参加し、地域の事情やニーズに即した、大学院や研究などの広報と希望者へのアドバイス

瀬尾恭一 山形32期 山形県立中央病院 脳神経外科	目黒由行 茨城28期 古河赤十字病院 外科
新井由季 栃木25期 那須赤十字病院	齊藤正昭 埼玉21期 さいたま医療センター
廣瀬英生 岐阜24期 国保和良診療所	乗松祐佐 静岡23期 国際医療福祉大学
佐野文彦 大阪23期 北光記念病院	見坂恒明 兵庫23期 兵庫県立柏原病院 地域医療教育センター
懸樋英一 鳥取26期 鳥取市立病院	永井道明 広島26期 広島市立安佐市民病院
中島 裕 山口25期 山口県立総合医療センター	藤原真治 徳島19期 美馬市国保木屋平診療所
吉永 亮 福岡27期 飯塚病院 漢方診療科	池本智一 熊本21期 熊本赤十字病院
森田喜紀 鹿児島25期 鹿児島県立大島病院 総合内科	仲里 淳 沖縄23期 沖縄県中部病院 循環器内科

研究支援サイト

オープンラボ・CRST <http://www.jichi.ac.jp/dscm/CRST.html>
地域医療オープンラボ Newsletter <http://www.jichi.ac.jp/openlab/newsletter/newsletter.html>
無料統計ソフト'EZR' <http://www.jichi.ac.jp/saitama-sct/SaitamaHP.files/statmed.html>

参考図書

「臨床研究と論文作成のコツ 読む・研究する・書く」松原茂樹(著, 編集), 大口昭英(著), 名郷直樹(著) 東京医学社 2011
「論文作成ABC: うまいケースレポート作成のコツ」松原茂樹(著) 東京医学社 2014
「臨床研究の道標(みちしるべ)―7つのステップで学ぶ研究デザイン第2版」福原俊一(著) 健康医療評価研究機構 2017
「初心者でもすぐにできるフリー統計ソフトEZREasy Rで誰でも簡単統計解析」神田善伸(著) 南江堂 2015

博士(医学)の種類

- ◇博士課程(甲種)
 - 一般大学院生 ⇒ 一般選抜試験：職業を有しない学生：4年間
 - 社会人大学院生 ⇒ 社会人特別選抜試験：勤務(常勤)、勤務時間外に講義聴講、研究・指導：4-6年間
- ◇論文博士(乙種)：大学院には在籍せず、本学に論文を提出し学位を取得

博士(医学)取得の要件

- ◇医学博士(甲種)：課程博士、大学院卒
 - TOEICテスト：500点以上(参考)、入学検定料 30,000+入学金 282,000
 - 授業料年額 585,800×4年=2,343,200(社会人大学院は最長6年修学でも4年分のみ)
- ◇医学博士(乙種)：論文博士、医学部卒
 - 本学研究生・本学教員を1年以上
 - 研究歴：医学部卒業後、5年以上
 - TOEICテスト：600点以上(学位申請の年及び前3年以内に取得したもの)
 - 学位審査手数料：本学教員・卒業生 100,000
 - 英語論文：筆頭著者2編以上(主論文は、Impact Factor \geq 1.0もしくは各分野IF上位75%以内の雑誌、学位申請の年及び前3年以内に掲載。参考論文は査読制度のあるPubMed雑誌または学会誌、症例報告可・年限無)
 - 研究生：卒業生は臨床研修を修了後、年間90,000(卒業生割引)×5年=450,000

研究歴として認められる勤務

- ・本学研究生、教員
- ・後期研修生としての自治医大受入期間(卒後5年目以降の卒業生)
- ・臨床講師として委嘱された期間、学外講師として委嘱された期間
- ・文部科学省研究機関、国立大学研究所、厚生労働省研究所、厚生労働省附属センター
- ・国立がんセンター、国立循環器病センター、国立精神・神経センター、国立国際医療センター
- ・厚生労働大臣の指定する臨床研修指定病院(協力病院は除く)
- ・以上と同等の国内外の研究施設での勤務